

講演記録「現代政治学の課題」について

松 沢 弘 陽

東京女子大学丸山眞文庫所蔵のノート・草稿類の整理のなかで、一九四七（昭和二二）年の講演速記二冊と、丸山自筆の講義ノートが発見された。前者「現代政治学の課題」二冊（整理番号三四八―三および三八七）と後者「旧制第一高等学校における政治学講義草稿」（丸山自筆表題）（整理番号四九一）は、同じ年に発表された「科学としての政治学」（『人文』第一巻二号、一九四七年六月、『丸山眞男集』第三巻）を承けるもので、丸山の戦後初期における新しい政治学の構想を示すものとして興味深い。『丸山眞男記念比較思想研究センター報告』本号と次号に分載発表する。それぞれの内容および関連する草稿類の紹介や丸山の政治学の形成史における意味などについては、一括して次号にのべることにしたい。

「現代政治学の課題」は、丸山の自筆で「第一章、現代政治学の課題」と表題を付された綴と、速記者によって表紙に「昭和二十二年十二月五日 現代政治学の課題 講師丸山眞男氏」と記され、原稿第一枚冒頭には、「現代政治学の課題 丸山眞男先生 昭和二十二年十一月五日 大隈講堂」と記された綴と、二冊の速記録からなる。第一冊は、全体にわたって丸山の加筆がされており、第二冊には丸山が手を入れたあとは見られない。第一冊冒頭の丸山が抹消した部分に「今日と明後日の二回に亘りまして、現代政治学の課題という御話をするわけですが」とあることから、この講演は一九四七年一月あるいは一月三日、五日の二回にわたって行われたことが明らかである。また第一冊本文の中に「早稲田の自治委員会から御指名」があつて講演を引受けたとあるので、講演が早稲田大学学生自治委員会の企画であることがわかる。第一冊冒頭の抹消部分から推して、第一冊に丸山が付した「第一章 現代政治学の課題」のうち「第一章」は、この講演の表題としては無視してよいであろう。本号掲載については、二冊分それぞれの表題を「現代政治学の課題 一」「同 二」とした。

今回の発表にあたっては、次のような要領で原稿の整理を行なった。第一冊については、丸山の加筆・抹消に従って本文を作り、加筆・抹消以前の原文を残すことはしない。

速記録の上欄外に記された丸山の記入は「(欄外) . . . 」として本文の行間に組み入れる。この部分で判読できない箇所は□□として残す。

他の文献からの引用や、長文の論及については原文に当り、必要な訂正をする。

速記の明瞭な誤りは、ことわることなく訂正する。

第二冊についても、速記の誤りは特にことわることなく訂正し、また若干の箇所に見られる丸山の語りの混乱も同様に、原文を示すことなく適宜整理する。

速記録の読解と整理は松沢弘陽と山辺春彦が協力して行ない、末尾の解説は松沢が記した。